

## 4 結果

### 1) FGD及び半構造化面接

#### (1) 促進/阻害する要因

FGDの参加者の発言内容と半構造化面接によるインタビュー内容をKJ法に基づいて分析した結果、コンドームの使用の促進や阻害に影響する要因として直接的・間接的に言及された内容は、大きく8つの群に分けられた。それらの群には、それぞれの特徴から以下のようなカテゴリー名をつけた。

- ①肉体的な快/不快
- ②流れ/雰囲気
- ③コンドームの有無
- ④コンドームへの意味づけ
- ⑤潤滑剤の有無
- ⑥関係性への意味づけ
- ⑦衛生感
- ⑧楽観

「コンドームへの意味づけ」には、「避妊のためのもの」という知識的なものだけでなく、「隔たりを感じる」といった心理的な要素を含んでいる。いずれも、コンドームの使用の阻害要因である。また、「関係性への意味づけ」とは、FGDとインタビューいずれからもうかがえた、「信頼」「愛情」「特定」といった意味がそれぞれの性行為の相手との関係に付与されることによりコンドーム使用を阻害している状況に付けたカテゴリー名である。「楽観」には、「自分は感染しない」という感覚的なものや「治療法の発達のおかげで感染しても死なない」という知識的なものが含まれている。

#### (2) 若年女子/男子(異性間)との比較

今回の調査で得られた内容を、過去2年間にこの研究班において行われた、若年女子/男子を対象とした異性間の性行為におけるコンドーム使用に関する調査と比較した結果、共通する阻害要因として以下の三つがあげられた。

- ①性行為を持つ相手との関係性に対する「信頼」「愛」「特定」という意味づけ。
- ②コンドームを使用しないほうが快感が得られるという認識。
- ③コンドーム使用が性行為の流れを止めるという認識。

また、逆に、異なる状況としては、以下の五つの点が明らかになった。

①「避妊のためのコンドーム」という「知識」が異性間では主に促進要因になるか同性間では阻害要因になる

②潤滑剤の有無が男性同性間の性行為におけるコンドーム使用には大きな影響がある

③「ハッテン場」という男性同性間の性行為が行われる場所の存在が性行為への意味づけの区分に大きな影響を及ぼすとともに、その場では個人空間とは全く異なる行動調整が働いている

④男性同性間の性行為においては、「セックス」という言葉が必ずしもインターコースを指すものではない

⑤アナルインターコースにおける挿入行為と被挿入行為におけるHIV感染リスクに対するイメージに大きな差がある(挿入行為に対するHIV感染リスクイメージが低い)

### 2) 質問紙調査

回収数 304 部、うち1部を白紙回答の

ため無効とし、除外したため 303 名を分析対象とした。(東京レスヒアン&ケイパレート 2002 参加者より 185 部、大学キャンパスを中心としたサークル参加者より 77 部 新宿 2 丁目の某ハー来客より 41 部)

#### (1) 集団特性 (表 1)

回答者は平均値 27.69 歳、中央値 27.0 歳で範囲は 17 歳から 59 歳の性的に活発な年齢であった。回答者の 86%が東京、関東エリア在住であり、同性愛者及び両性愛者と自認している人は合わせて 96.3%であった。性的自認が異性愛者でなおかつ男性との性交渉の経験がない 5 名については更なる分析の対象から除外した。

#### (2) 行動の状況 (表 2)

初めて男性と性行為をもった年齢は平均値 18.3 歳 中央値 18.0 歳であり、最小 6 歳、最大 35 歳であった。アナルインターコースについては全くタチ (挿入行為) を行わない人が 30.0%、ネコ (被挿入行為) を行わない人が 31.5%であり、経験のない人も合わせて考えると 65%以上の対象者がなんらかの形で過去半年以内にアナルインターコースを経験していると考えられる。パートナーについては 72.1%がステディな関係のパートナーがいたとこたえる一方で 67.8%の回答者がその場限りの相手とのセックスがあったと答えている。過去半年間にセックスをした人数についてはもっとも多かったのが 3 人~10 人の範囲であり、34.4%を占めている。51 人以上とのセックスがあったと答えている 6 人の対象者も含まれている。ハンテン場につ

いては 6 割以上の人か利用した経験をもっており、一ヶ月に 1 回以上利用する人は 28.6%であった。

#### (3) コントーム使用行動 (表 3、表 4)

過去半年以内に特定の相手かいたと回答した人のうち、コントーム使用行動について回答されている 210 名を対象に、特定相手とのアナルインターコース、オーラルセックスでのコントーム使用について、それぞれタチ、ネコの別に回答を得た (表 3)。約 96%の人はオーラルセックスを経験しており、そのうちコントームを必ず使用するこたえた人はオーラルセックスを行う場合 8.2%。される場合 7.2%であり、逆に全く使わない人は前者 63.3%、後者 68.8%であった。特定相手とのアナルインターコースにおいては、コントームを必ず使用するこたえた人はタチを行う場合 34.8%。される場合 32.6%であり、逆に全く使用しないこたえた人はタチ、ネコそれぞれ 13.5%及び 14.3%であった。但し約 31%の人がアナルインターコースの状況そのものかないと答えている。

過去半年以内にその場限りの相手とのセックスがあったと回答した 199 名 (表 5) においても約 92%の人がオーラルセックスを経験しており、コントームを必ず使用すると答えた人は、するオーラルセックスを行う方 8.0%、される方 5.6%であった。逆に全く使用しないと答えた人はそれぞれ 45.7%、52.5%であった。その場限りの相手とのアナルインターコースにおけるコントームの使用については、タチで 41.9%、ネコで 42.5%となり、特定の相手とセックスに比し、その使用率は高くな

る一方で、全くコントームを使用しないと答えた人もタチ、ネコでそれぞれ 4.5%、4.0%いた。なお、アナルインターコース自体を行っていないと答えた人はタチ、ネコそれぞれ 29.3%、34.2%であり、特定相手とのアナルインターコースにおける数値と大きな違いはなかった。

#### (4) コントーム使用に対する意識、態度に関する因子分析 (表5)

64 問より構成されたコントーム使用の意識、態度に関する項目に対し、因子分析を行い、その背景にある因子について考察した。一般化された最小二乗法により、固有値 1 以上の項目についてヴァリマックス回転を行い、得られたスクリープロット及び因子負荷の点数をもとに 6 つの因子を抽出した。因子はそれぞれ因子寄与の値が大きい順番に、第 1 因子 相手依存、第 2 因子 場のノリ優先、第 3 因子 相手のムート優先、第 4 因子 コントーム使用自身感、第 5 因子 準備負担感、第 6 因子 楽観と命名した。過去にぶれいす東京で行われた若年女子/男子を対象とした異性間性行為に関する調査結果と比較した結果、相手との関係性を重視する女子調査と同様な要因が上位にくる一方で、ハノテン場の存在など、男性同性間の性行為に特有の要因が影響していることがわかった。

#### (5) 相手依存傾向と性行動及びコントーム使用行動の関係 (表6)

いい子尺度 (宗像, 1993) (5) は 10 問より構成され、相手に対しどれだけ依存的な傾向があるかを表すものである。質問文に対し「あてはまる」から「あてはまらな

い」の 5 段階について回答し、それぞれ点数化したものを合計することで得られる。合計点数が低いほど相手への依存度が大きいと解釈される。本研究の対象者においてこの尺度はクロンハノハ  $\alpha = 0.763$  と高い内的妥当性を示している。

更に本研究ではコントーム使用意志の高さ、及びアナルインターコースでのコントーム使用の有無において対象者を 2 群にわけ、それぞれいい子尺度の合計点数について 2 群の間で比較を行った (表 6)。ノンパラメトリックテストの結果、コントーム使用意志及び特定相手とのアナルインターコースにおいてはいずれもいい子尺度の合計点数において差はみられなかった。その場限りの相手とのアナルインターコースにおいては、受動的な役割である場合、コントーム使用の有無におけるいい子尺度の合計点の差はみられなかったが、能動的な役割においては差が見られた。つまり、その場限りの相手では、アナルインターコースにおいてタチを行う場合に (挿入する側) コントームの不使用が見られた集団のほうが相手への依存傾向が高いことが示唆された。

#### (6) コントーム不使用とその他の変数との関係 (表7、表8)

年齢、教育程度、性的パートナーの数、ハノテン場の利用行動及びコントーム使用意志とそれぞれのコントーム不使用の関係についてオノス比を用いて解析を行った。その結果 (表 7)、コントーム使用意志の低いグループにおいて、コントーム不使用のオノス比は 4.16 と高かったが、他の変数においては大きな差はみられなかった。

更にコントーム使用意志によって分けら

れた2群において、コンドーム不使用においてとれたけその出現に違いが見られるかについて、アナルインターコースの種類（タチ／ネコ）及びパートナーの種類（ステイ／カンユアル）によって検討した。その結果（表8）いずれもコンドーム使用意志の低い群において、コンドーム不使用が起るリスクは有意に高かったか、特に特定の相手とのセックスにおいては、タチ／ネコいずれにおいてもコンドーム不使用のリスクは高くなっていた。

#### （7）抗体検査行動（表9）

抗体検査行動については回答者の半分以下かHIV抗体検査の受検を行った経験があり、うち74.1%の人が1年以内に抗体検査にいったことかあると回答している。

## 5 考察

男性同性間の性行為においては、各個人のコンドーム使用行動はパートナーの種類やセックスでの役割において違いが見られている。異性間の場合と違い男性同性間の性行為においては必ずしも役割は一定ではなく、また、コンドーム使用の背景に影響する要因も多岐にわたっている。そのため、一言で数字上から結論を出すことには常に一定の限界かあるとは言わざるを得ない。しかし本研究では、東京近辺に在住している男性と性行為を行う男性を中心に300人近くの回答協力者を得ることかでき、またFGDからも様々な角度から語りを得ることができ、今後の男性同性間の性行為におけるコンドーム使用行動の研究において、有用な情報を提供するものである。

### 1) 性行動における『場』について

まず、ここていうハノテン場とは、あえて質問紙の上て定義はされなかつたか、一般的には性行為を伴う出会いを目的とした有村施設型のもの、及び公園や駅のトイレなど、出会いの場として男性と性行為を行う男性の間て機能するようになった特定の場所の双方をさす。この質問紙調査て行つた自由解答ては、ハノテン場そのものについて言及することにはかなり抵抗を示す人かいた。ケイ＝ハノテン場＝性的な乱れという図式を想起させるものとして、実際ハノテン場にかかない対象者にとつては、心理的にも受け容れられない部分かあると理解される。ハノテン場にかいたことのある対象者は7割近くてあり、2、3ヶ月に1回以上は最低利用するところたえた人を習慣的に利用する集団と考えればその割合は44%に及ぶ。本研究てはハノテン場にかいててういふ性交渉をするのか、特定した質問設定は行つてはいないが、ハノテン場ての性交渉にかいては必然的に性的なパートナーか多くなる傾向にあり、コンドームの有無の問題やそれ以外のノリや雰囲気といった要素により本人の意識とは無関係に性行動が影響されることかうかかえる。因子分析の結果ても第2因子、第3因子にかいては相手とのムートや場のノリを優先させる要因か上位に來てている。本来、性行為は相手あつての行動てあり、そこては本人の中だけの要素たけてなく、相手の要素との相互作用の結果、一つの『場』か形成される。本研究のコンドーム使用意志と実際の使用行動の関係にかいて、コンドーム使用意志の高さは実際の行動とも関連はしているものの、かなり不確定な部分が『場』の

中に存在しており、一種のブラックボックスとして作用していると考えられる。HIV感染予防の観点から、本来の介入を考えたときに、どの時点で行うかについては議論もあろうが、性行為における『場』について考える事は、大きなキーポイントとしてあげられる。

## 2) パートナーの関係性と性行動における役割

表7よりコンドームの不使用においても差がでたと考えられるのがコンドーム使用意志であった。使用意志と行動と関係については先行研究でも強い関連がみられていることが分かっているが、更に性行為の相手の種類と役割について見たとき、彼氏などのステディなパートナーとはコンドームを使わない選択をとりやすいことが先行研究からも言われている(6-9)。性的パートナーの数の多さとハイリスク行動の関係が想起されやすいが、この結果からはむしろ性交渉の回数あるいは共有される『場』の密度や頻度もコンドーム不使用と関連しているのではないかと考えられる。なお一般的に不特定多数との性交渉を反映していると考えられやすいその場限りの相手との性交渉においては、コンドーム不使用の頻度についてタチ/ネコ間で大きな差があるとはいえない。つまりネコの役割の男性がタチである相手の意志に従ってコンドームをつけないこともあれば、その逆もあるということである。また、コンドーム不使用はステディな相手との性交渉のほうが起こりやすく、むしろ同じ人との性交渉の回数と関係があるかもしれない。本研究では同じ人との性交渉の回数や関係継続

期間を直接設問で設定したわけではないため、結論として述べるには慎重にならざるを得ないが、今後の研究や介入の方向性として考慮されるに値するものである。

## 6 結論

男性同性間の性行為においては、コンドーム使用意志と行動に強い関連がみられたが、意志を規定する要因は様々であった。コンドーム使用行動はパートナーとの相互要因によって規定されるため、個人への介入においてコンドーム使用意志を高めたところで、相手の意志によってコンドームを用いない可能性もある。むしろ相手と出会う場そのものにおける介入のほうが効果が高いことがうかがえる。しかし、近年、インターネットの発達などで出会いの場も多様化がすすむ一方で、またゲイコミュニティにアクセスすることすら困難な人も多数いる現実があり、ゲイ/バイセクシュアル男性を中心とした男性と性行為を行う男性を取り巻く現状を分析するとともに、都市圏以外など、ゲイコミュニティへのアクセスが難しい人たちへの介入もますます必要になっていくことと思われる。

### 研究発表

砂川秀樹、葦田竜也、生島嗣、他上千寿子  
「男性同性間性行為におけるコンドームの使用/不使用の要因に関する質的調査結果とヘテロセクシュアルの若年女子/男子調査との比較研究」(第16回日本エイズ学会)  
生島嗣、佐藤未光「ゲイ・バイセクシュアルのコンドームに関する調査」(第16回日本エイズ学会)

参考文献

- 1 AIDS Prevention Information Network Available at:  
URL: [http://api-net.jfap.or.jp/mhw/survey/mhw\\_survey.htm](http://api-net.jfap.or.jp/mhw/survey/mhw_survey.htm). Accessed February 1, 2003.
2. (NIH): Scientific evidence on condom effectiveness for sexually transmitted diseases (STD) prevention Herndon, Virginia. National Institutes of Health (NIH):; 2000 11-12, June.
3. Pinkerton S, Abramson P. Effectiveness of condom in preventing HIV transmission. *Social Science of Medicine* 1997, 44(9):1303-1312.
- 4 Ronald D, Robert B, Craig R, Maria E, William M. The gay 90's : a review of research in the 1990s on sexual behavior and HIV risk among men who have sex with men. *AIDS* 2000;14(Supplement 3).
5. 桃生寛和、星野順一郎、保阪隆、木村博編。宗俊恒次 燃えつきおよびその関連尺度。星和書店。1993:218-235
- 6 Fitzpatrick R, Dawson J, Boulton M, McLean J, Hart G Social psychological factors that may predict high risk sexual behaviour in gay men. *Health Education Research* 1991;50:63-66.
- 7 Gold RS, Skinner MJ. Situational factors and thought process associated with unprotected intercourse in young gay men. *AIDS* 1992,6:1021-1030.
8. Hays R, Kegeles SM, Coates TJ. High HIV risk taking among young gay men *AIDS* 1990;4(901-907).
- 9 Schmidt KW, Fouchard JR, Krasnik A, Zoffman H, Jakobsen HL, Kreisner S. Sexual behaviour related to psycho-social factors in a population of Danish homosexual and bisexual men. *Social Science & Medicine* 1992,34:1119-1127.

表1  
集団特性

年齢 (n=303)		
平均値	27.69	
中央値	27.0	
標準偏差	6.67	
範囲	17-59	
居住地 (有効 n=300)		
東京都内	159	52.6
関東近県	101	33.4
関東以外	41	13.6
最終学歴 (有効 n=300)		
中学校	3	1.0
高校	51	17.0
専門学校	43	14.3
大学・短大	172	57.0
大学院	24	8.0
その他	8	2.6
性自認 (有効 n=301)		
同性愛者	265	88.0
両性愛者	25	8.3
異性愛者	5	1.7
その他	6	2.0
性指向 (有効 n=300)		
男性のみ	261	87.0
主に男性	29	9.7
男性と女性半々	2	0.7
女性のみ	4	1.3
主に女性	1	0.3
その他	3	1.0

表2  
性行動

初めて男性と性行動を経験した年齢 (有効 n=285)		
平均値	18.3	
中央値	18.0	
標準偏差	4.14	
範囲	6-35	
男性との初体験からの経過年数 (有効 n=284)		
平均値	9.5	
中央値	8.0	
標準偏差	7.25	
範囲	0-39	
性行為においてタチを行う頻度 (有効 n=296)		
ほとんど毎回	28	9.4
2~3回に1回	57	19.2
それ以下	118	39.7
全くしない	89	30.0
性行為の経験なし	4	1.3
性行為においてネコを行う頻度 (有効 n=296)		
ほとんど毎回	36	12.1
2~3回に1回	61	20.5
それ以下	100	33.6
全くしない	94	31.5
性行為の経験なし	5	1.7
過去半年以内の彼氏の有無 (有効 n=297)		
いた	214	72.1
いない	78	26.3
わからない	5	1.7
過去半年以内のその場限りの相手の有無 (有効 n=298)		
いた	202	67.8
いない	96	32.2
過去半年以内のセックスした相手の人数 (有効 n=299)		
0人	26	8.7
1人	63	21.1
2人	53	17.7
3人~10人	103	34.4
11人~50人	48	16.1
51人以上	6	2.0
過去半年以内のハッテン場利用の有無 (有効 n=298)		
週に1回以上	10	3.4
月に1~3回	75	25.2
2~3ヶ月に1回	48	16.1
それ以下	36	12.1
過去6箇月はいって 一度もいったことがな	58	19.5
	71	23.8

表 3

特定の相手とのコンドーム使用行動  
(有効 n=210)

	n	%
オーラルセックスをする場合 (有効 n=207)		
必ず使う	17	8.2
たいてい使う	15	7.2
あまり使わない	36	17.4
全く使わない	131	63.3
そのような状況がなかった	8	3.9
オーラルセックスをされる場合 (有効 n=208)		
必ず使う	15	7.2
たいてい使う	10	4.8
あまり使わない	31	14.9
全く使わない	143	68.8
そのような状況がなかった	9	4.3
アナルにいれる場合 (有効 n=207)		
必ず使う	72	34.8
たいてい使う	28	13.5
あまり使わない	14	6.8
全く使わない	28	13.5
そのような状況がなかった	65	31.4
アナルにいれられる場合 (有効 n=209)		
必ず使う	68	32.6
たいてい使う	26	12.4
あまり使わない	19	9.1
全く使わない	30	14.3
そのような状況がなかった	65	31.1

表 4

その場限りの相手とのコンドーム使用行動  
(有効 n=199)

	n	%
オーラルセックスをする場合 (有効 n=199)		
必ず使う	16	8.0
たいてい使う	15	7.5
あまり使わない	59	29.6
全く使わない	91	45.7
そのような状況がなかった	18	9.0
オーラルセックスをされる場合 (有効n=198)		
必ず使う	11	5.6
たいてい使う	11	5.6
あまり使わない	57	28.8
全く使わない	104	52.5
そのような状況がなかった	15	7.6
アナルにいれる場合 (有効 n=198)		
必ず使う	83	41.9
たいてい使う	34	17.2
あまり使わない	14	7.1
全く使わない	9	4.5
そのような状況がなかった	58	29.3
アナルにいれられる場合 (有効 n=199)		
必ず使う	82	41.2
たいてい使う	29	14.6
あまり使わない	12	6.0
全く使わない	8	4.0
そのような状況がなかった	68	34.2



表 5

コンドーム使用態度における因子分析結果 (n=297)

変数	因子					
	1	2	3	4	5	6
	相手依存	場のノリ優先	相手のムード優先	コンドーム使用自信	準備負担感	楽観
第1因子 相手依存						
信用している相手とはコンドームを使わないでセックスをしがちだ	0.87	-0.24	0.12	-0.02	-0.05	0.05
知っている相手だとコンドームを使わずにセックスをしがちである	0.84	-0.07	-0.01	-0.05	0.02	0.11
コンドームがその場にないと、そのままコンドームなしでセックスしてしまう	0.76	0.30	0.02	0.02	0.03	0.03
気持ちよくセックスしたいと思っているときは、コンドームのことを忘れがち	0.68	0.21	0.04	-0.02	-0.10	-0.09
ある						
その場の雰囲気の流れでコンドームをつけずにセックスすることがある	0.68	-0.05	-0.06	-0.07	-0.02	0.01
相手のエイズ検査の結果によってコンドームをつけずにセックスをすることがある	0.66	0.06	-0.03	-0.04	-0.04	0.08
信頼の証 (あかし) として、コンドームをつけずにセックスをすることがある	0.61	0.10	0.06	-0.02	-0.01	-0.16
付き合っている人とはコンドームを使わない	0.61	-0.07	-0.03	-0.19	-0.06	-0.06
コンドームを使いたいと思っけていても、相手に押されてコンドームなしでセックスしてしまうことがある	0.59	-0.14	0.07	-0.02	-0.02	-0.07
相手がタイズだと、コンドームを使わずにセックスをしてしまう	0.59	0.09	0.00	-0.01	0.15	-0.03
まじめそうに見える相手だと、その人とのセックスではコンドームを使わなくなり	0.51	-0.09	-0.05	0.02	0.01	-0.04
からだ						
HIV (エイズのウイルス) に感染することを覚悟して、コンドームを使わずにセックス	0.42	0.15	-0.05	0.09	0.12	0.22
することがある						
付き合う人ができると、その人とも他の人とも必ずコンドームをつける	-0.33	0.20	-0.01	0.26	-0.09	-0.11
第2因子 場のノリ優先						
ハッテン場などで周囲に見られてるときにコンドームをつけるのは恥ずかしい	0.02	0.74	0.01	-0.14	0.15	-0.07
コンドームをつける行為はハッテン場では雰囲気をごわす	0.15	0.57	0.07	0.17	0.03	-0.05
ラッシュを吸っているとコンドームをつけずセックスをしがちである	0.15	0.46	0.07	-0.11	0.03	0.02
(ラッシュ=セックスの興奮を高めるために使われることがある化学化合物)						
HIV感染を予防したセックスは、続けられているとあきてくる	0.18	0.36	0.04	-0.08	0.11	0.09
第3因子 相手のムード優先						
タチがコンドームをつけるあいだ、ウケが待っているという雰囲気がいやだ (タチ=	0.01	0.04	0.95	0.17	-0.08	0.02
入れる側 ウケ=入れられる側)						
性行為の最中にコンドームをつけるのはしらける	0.10	0.08	0.81	0.04	0.04	-0.01
コンドームをつけることでセックスの流れが止まる	0.06	0.26	0.36	-0.05	0.07	0.03
第4因子 コンドーム使用自信						

アナルセックスでは必ずコンドームを使おうと思っている	-0.10	-0.07	0.04	0.92	0.11	-0.02
セックスの時にコンドームを使うのは当たり前である	-0.10	-0.09	0.22	0.81	0.03	0.00
付き合っている相手にH1Vをうつさないために、それ以外の他の人とのセックスでは必ずコンドームを使う	-0.08	-0.06	-0.01	0.35	0.00	-0.08
コンドームがあっても、潤滑剤がないと、コンドームを使わなくなりがちだ	0.02	0.06	0.12	-0.35	-0.11	-0.01
<b>第5因子 準備負担感</b>						
コンドームを買うのは恥ずかしい	0.09	0.11	-0.17	0.13	0.67	-0.03
潤滑剤（コンドームをつけてすへりをよくするための商品）は手に入りにくい	-0.08	0.06	0.09	0.08	0.62	0.02
<b>第6因子 楽観</b>						
エイズ以外の性感染症は、それほどこわくない（性感染症≡主に性行為で感染する病気）	0.04	-0.04	0.05	-0.11	0.01	0.84
エイズは、それほどこわい病気ではない	-0.09	-0.03	-0.05	0.12	-0.03	0.62
フェラチオではH1V感染を心配しない	-0.02	-0.14	0.07	0.04	0.04	0.32
<b>因子寄与</b>	8.63	2.62	2.36	2.34	2.31	1.62
<b>寄与率</b>	13.27	4.03	3.63	3.60	3.55	2.50

表6 コンドーム使用意志及び使用行動におけるいい子尺度の平均点の状況

	N	平均値	標準偏差	信頼性係数 $\alpha$
いい子尺度の記述統計	288	25.4688	6.54699	0.763
		(中央値25.0)	(最小10-最大50)	
	N	平均値	標準偏差	有意確率(p<)
<b>コンドーム使用意志</b>				
高意志群	191	25.37	6.52	0.649
低意志群	96	25.75	6.60	
<b>アナルセックス総合</b>				
コンドーム不使用あり	135	25.76	6.38	0.725
コンドーム不使用なし	151	25.21	6.73	
<b>特定の相手に対し挿入する</b>				
コンドーム不使用あり	89	25.68	5.83	0.829
コンドーム不使用なし	196	25.43	6.84	
<b>特定の相手から挿入される</b>				
コンドーム不使用あり	94	25.81	5.99	0.815
コンドーム不使用なし	192	25.30	6.84	
<b>その場限りの相手に対し挿入する</b>				
コンドーム不使用あり	71	24.18	6.70	0.027 <sup>a</sup>
コンドーム不使用なし	215	25.86	6.47	
<b>その場限りの相手から挿入される</b>				
コンドーム不使用あり	60	25.20	6.21	0.497
コンドーム不使用なし	227	25.53	6.65	

<sup>a</sup> Mann-Whitney 検定 p<0.05にて有意差あり

表7 各変数におけるコンドーム不使用のリスク

	オッズ比	95%信頼区間	有意確率
<b>年齢</b>			
24歳以下	1.07	(0.69-1.78)	0.716
25歳以上	1.0		
<b>教育</b>			
大卒未満	1.59	(0.95-2.66)	0.092
大卒以上	1.0		
<b>性的対象</b>			
女性も可	1.96	(0.92-4.22)	0.096
男性のみ	1.0		
<b>性的パートナー</b>			
3人以上	0.73	(0.46-1.15)	0.119
3人以下	1.0		
<b>ハッテン場の経験有無</b>			
経験なし	0.78	(0.44-1.37)	0.478
経験あり	1.0		
<b>ハッテン場の習慣</b>			
2, 3ヶ月!	1.05	(0.62-1.79)	0.893
2, 3ヶ月!	1.0		
<b>コンドーム使用意志</b>			
使用意志低!	4.16	(2.43-7.01)	0.000 <sup>*</sup>
使用意志高!	1.0		

表 8

コンドーム使用意志で分けられた 2 群におけるパートナー、セックスにおける役割の違いによるコンドーム不使用のリスク

	ステディなパートナーと オッズ比 (95%信頼区間)		その場限りの相手と オッズ比 (95%信頼区間)	
	挿入する	挿入される	挿入する	挿入される
意志が高い	1.00	1.00	1.00	1.00
意志が低い	3.74 (2.03-6.86)	4.07 (2.22-7.44)	1.95 (1.02-3.71)	1.97 (1.01-3.86)

表 9

抗体検査行動

	n	%
HIV抗体検査の受検の有無 (有効 n=290)		
はい	154	53.1
いいえ	136	46.9
最後に検査にいったのはいつか? (有効 n=135)		
1年以内	100	74.1
1年以上前	35	25.9

僕らのための  
**コンドーム使用&意識調査**  
～効果的な予防啓発活動へ向けて～

(男性同性間バージョン)

特定非営利活動法人 ぶれいす東京

〒169-0075 新宿区高田馬場 4-22-46 ザ・テラス 304  
TEL 03-3361-8964 FAX 03-3361-8835 E-mail [ptokyo@gol.com](mailto:ptokyo@gol.com)

## 回答にあたって

- 1) この調査は無記名で行われます。
- 2) アンケート用紙には、あなたのお名前、ご住所・電話番号などは、絶対に記入しないでください。
- 3) ご自身の経験からは答えづらい質問もあるかと思いますが、あまり深く考え込まず、直観的にお答え下さい。
- 4) 調査そのものへの参加をやめることもできます。  
調査への参加を希望されない場合には、白紙のまま、回収用封筒に入れて（あるいは回収用ボックスへ）出して下さい。
- 5) みなさまからお寄せいただいた回答は統計的に処理されます。したがって個人の特定は一切行われず、個人情報としては一切利用されることはありません。

アンケート用紙の保管も厳重かつ慎重に行われます。

### 記入例

「HIV/AIDSはセックスで感染する可能性がある」の意見が、あなたの考えと「あてはまる」場合

		あてはまる	だいたいあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
例	HIV/AIDSはセックスで感染する可能性がある	①	2	3	4	5

問1 まず、あなた自身のことについてお尋ねします。

1-1 あなたのご年齢は？ \_\_\_\_\_才

1-2 あなたのお住まいはどこですか？

- ① 東京都内                      ② 都内以外の関東近県
- ③ 関東以外

1-3 あなたの最終学歴は以下のどれですか？ なお在学中のかたは、現在在学中のものをひとつ選んでください。

- ① 中学校                      ② 高校
- ③ 専門学校                      ④ 大学（短期大学を含む）
- ⑤ 大学院                      ⑥ その他（                      ）

1-5 あなたは以下のどれに属していると思いますか？

あてはまるものをひとつ選んでください

- ① 同性愛者（ゲイ、ホモセクシュアル）      ② 両性愛者（バイセクシュアル）
- ③ 異性愛者（ヘテロセクシュアル）      ④ その他（決めたくない、わからないなど）

1-6 あなたがセックスする相手の性別は以下のどれですか？

- ① 男性のみ                      ② 両方だが主に男性
- ③ 男性と女性同じくらい      ④ 女性のみ
- ⑤ 両方だが主に女性              ⑥ その他（                      ）

次のページへおすすみください

問2 下にコンドームについて様々な意見が挙げられています。これらの意見はあなた自身のお考えとどの程度一致しますか。「あてはまる」から「あてはまらない」の5段階でお答えください。

なおここではセックスというのはアナルセックスのことを指すことにします（強調するために「アナルセックス」という言葉を用いている所もあります）。「性行為」という言葉はアナルセックスに限りません。

★なお、この問2では、既に HIV 陽性告知を受けている人（HIV に感染している人）は、陽性告知を受ける前の過去の時点として、振り返ってお答えください。

		あてはまる	たいたい あてはまる	どちらとも いえない	あまり あてはまらない	あてはまらない
1	コンドームは避妊具なので男同士のセックスには必要ないというイメージがある	1	2	3	4	5
2	コンドームがあっても、潤滑剤がないと、コンドームを使わなくなりがちだ (潤滑剤=コンドームにつけてすべりをよくするもの「ベベ」「ラブオイル」「KYゼリー」など)	1	2	3	4	5
3	たった1回でもコンドームを使わずにアナルセックスをすると、HIV（エイズのウイルス）に感染することがあると思う	1	2	3	4	5
4	コンドームをつけてセックスをすると安心する	1	2	3	4	5
5	アナルセックスの時には必ずコンドームを使うべきだ	1	2	3	4	5
6	パッケージが手に取りやすいものだと、コンドームが買いやすくなる	1	2	3	4	5
7	自分がHIV（エイズのウイルス）に感染する可能性は低い	1	2	3	4	5
8	コンドームをつけると、相手との間に「へたたり」を感じる	1	2	3	4	5
9	コンドームを買うのは恥ずかしい	1	2	3	4	5
10	いらいらしている時だと、コンドームを使わずにセックスをしたくなる	1	2	3	4	5



11	自分はH I Vに感染している可能性があると思う	1	2	3	4	5
12	コンドームをつけたセックスは気持ちいい	1	2	3	4	5
13	エイズの検査で、「感染していない」という結果が出続けると、エイズは身近なものに感じられなくなってくる	1	2	3	4	5
14	コンドームは破れてしまうことがあるので面倒くさい	1	2	3	4	5
15	フェラチオではH I V感染を心配しない	1	2	3	4	5
16	ハッテン場では、コンドームが手元になことが多い	1	2	3	4	5
17	コンドームを使いたいと思っても、相手に押されてコンドームなしでセックスしてしまうことがある	1	2	3	4	5
18	潤滑剤（コンドームをつけてすべりをよくするための商品）は手に入りにくい	1	2	3	4	5
19	コンドームをつけたペニスはなめたくない	1	2	3	4	5
		あてはまる	たいたいあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
20	どんな相手からでもH I V（エイズのウイルス）に感染する可能性があると思う	1	2	3	4	5
21	セックスの相手が望めば必ずコンドームを使用する	1	2	3	4	5
22	タチがコンドームをつけるあいだ、ウケが待っているという雰囲気イヤだ（タチ=入れる側 ウケ=入れられる側）	1	2	3	4	5
23	性行為の最中にコンドームをつけるのはしらける	1	2	3	4	5
24	ハッテン場ではタチ側（タチ=入れる側）がコンドームをつけているかどうかを確認するのは難しい	1	2	3	4	5
25	セックスをした後に自分の体調が悪くならなかった相手だと、その相手とのセックスではH I V感染の心配をしなくなる	1	2	3	4	5
26	普段からコンドームを使っている人が相手だと、たまにはコンドームを使わずにセックスをしてもいいと思いがちだ	1	2	3	4	5

27	エイズは、それほどこわい病気ではない	1	2	3	4	5
28	エイズ以外の性感染症は、それほどこわくない (性感染症=主に性行為で感染する病気)	1	2	3	4	5
29	その場の雰囲気にならされてコンドームをつけずにセックスすることがある	1	2	3	4	5
30	ましめそうに見える相手だと、その人とのセックスではコンドームを使わなくなりがちだ	1	2	3	4	5
31	地方だと、予防をせずにセックスをしても、HIVに感染する可能性は低いと思う	1	2	3	4	5
32	信用している相手とはコンドームを使わないでセックスをしかちだ	1	2	3	4	5
33	ウケ(入れられる側)の人がコンドームを持っているものだと思う	1	2	3	4	5
34	コンドームをつけることでセックスの流れが止まる	1	2	3	4	5
35	付き合っている相手にHIVをうつさないために、それ以外の他の人とのセックスでは必ずコンドームを使う	1	2	3	4	5
		あてはまる	たいたいあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
36	よく知っている相手だとコンドームを使わずにセックスをしがちである	1	2	3	4	5
37	相手のエイズ検査の結果によってコンドームをつけずにセックスをすることがある	1	2	3	4	5
38	付き合う人ができると、その人とも他の人とも必ずコンドームをつける	1	2	3	4	5
39	付き合っている人とはコンドームを使わない	1	2	3	4	5
40	気持ちよくセックスしたいと思っているときは、コンドームのことを忘れがちである	1	2	3	4	5
41	信頼の証(あかし)として、コンドームをつけずにセックスをすることがある	1	2	3	4	5
42	コンドームをもらうことがよくある	1	2	3	4	5
43	相手にHIVをうつさないことを意識して、コンドームをつける	1	2	3	4	5
44	コンドームを使ってセックスをすると、ペニスが便で汚れなくていい	1	2	3	4	5

45	付き合っている相手とはコンドームを使うことについて話しやすい	1	2	3	4	5
46	コンドームをつけないでするセックスは気持ちいい	1	2	3	4	5
47	コンドームをつける行為はハッテン場では雰囲気をこわす	1	2	3	4	5
48	HIV（エイズのウイルス）に感染することを覚悟して、コンドームを使わずにセックスすることがある	1	2	3	4	5
49	コンドームがその場にないと、そのままコンドームなしでセックスしてしまう	1	2	3	4	5
50	ハッテン場で、セックスする場所にコンドームがあればコンドームを使いやすくなる	1	2	3	4	5
51	ハッテン場などで周囲に見られてるときにコンドームをつけるのは恥ずかしい	1	2	3	4	5
52	学校では、HIVの感染を防ぐためにコンドームを使うということは教わらなかった	1	2	3	4	5
		あてはまる	たいたいあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
53	コンドームをつけると相手が痛がる場合にはコンドームをつけずにセックスする。	1	2	3	4	5
54	周囲の人がHIVに感染したのを知ったことがきっかけでコンドームを使用するようになった	1	2	3	4	5
55	コンドームのサイズが自分のペニスのサイズと合わなくて使わないことがある。	1	2	3	4	5
56	タチの人がコンドームを用意するべきだと思う	1	2	3	4	5
57	アナルセックスでは必ずコンドームを使おうと思っている	1	2	3	4	5
58	コンドームは、潤滑剤を使っても、すぐにかわくので使いにくい	1	2	3	4	5
59	HIV感染を予防したセックスは、続けているとあきてくる	1	2	3	4	5

		あてはまる	たいたい あてはまる	どちらとも いえない	あまり あてはまらない	あてはまらな
60	コンドームをつけると、ペニスがたちにくい	1	2	3	4	5
61	相手がタイプだと、コンドームを使わずにセックスをしてしまう	1	2	3	4	5
62	コンドームをつけることになれてしまえば抵抗はない	1	2	3	4	5
63	ラッシュを吸っているとコンドームをつけずセックスをしがちである (ラッシュ=セックスの興奮を高めるために使われることがある化学化合物)	1	2	3	4	5
64	ハッテン場で、コンドームを受付などへ取りに行くのは面倒くさい	1	2	3	4	5
65	セックスの時にコンドームを使うのは当たり前である	1	2	3	4	5

問3 続いてあなたの性行動についてお尋ねします。「なぜこんなことまで」と思われる項目もあるかもしれませんが、男性同性間の性行動の現状を知るうえでとても重要なものです。ご理解のうえ、ご回答いただきますよう、お願いいたします。

3-1 男性と初めて性経験があったのは何歳のときでしたか? \_\_\_\_\_才の時

3-2 性行為の時、相手のアナルにペニスを入れる頻度はどれくらいですか?

- ① ほとんど毎回      ② 2~3回に1回      ③ それ以下      ④ 全くしない  
⑤ 性行為の経験なし

3-3 性行為の時、ペニスをアナルに入れられる頻度はどれくらいですか?

- ① ほとんど毎回      ② 2~3回に1回      ③ それ以下      ④ 全くしない  
⑤ 性行為の経験なし

3-4 過去6ヶ月で付き合った相手(恋人、彼氏、パートナーなど)はいましたか?

- ① いた                      ② いない  
③ わからない (                      )

3-5 過去6ヶ月でその場限りの相手とのセックスはありましたか?

- ① はい                      ② いいえ